

福野地域 会議録

件名	福野地域提言実現検討組織 拠点づくりグループ 第6回会議		
日時	令和元年9月20日（金）19時～21時	場所	福野庁舎2階 201会議室
出席者	拠点づくりグループ参加メンバー：4名、福祉課障害福祉係上野係長、南砺市手をつなぐ育成会西部会長 地方創生推進課：2名		
内容	・参加メンバーからの提供資料の説明 ・複合交流施設に必要な機能と具体的な取組について		
概要	→今回は、南砺市手をつなぐ育成会西部会長さんより、旅川福祉交流館に入っている福祉作業所のメイプル福野の現状と今後の行き先についてのご相談を受け、お越しいただいた。 ◆南砺市手をつなぐ育成会 西部会長より、メイプル福野の現状と今後について説明 私は、旅川福祉交流館で活動している福祉作業所、メイプル福野の利用者の親の会の代表をしている。令和5年（2023年）に、旅川福祉交流館が耐用年数の到来により使用出来なくなるといって話を受けて、今後の活動先を求めて、相談させていただいたもの。メイプル福野は社会福祉法人手をつなぐとなみ野により経営されているが、施設を新築出来る程の財力はなく、このまま行けば、メイプル福野の撤退もあり得ることから、大変危機感を感じている。 こちらとしては、庁舎統合に伴って、福野地域内の公共施設機能が大幅に変わるタイミングに併せて、現在、旅川福祉交流館で活動している市の地域活動支援センターと共に、メイプル福野も新設を検討されている施設の機能に加えさせてもらえないだろうか？ ◆質疑応答（●…メンバー発言、◎…西部氏発言、○…上野係長発言、→…事務局発言） ●今ファブリカ跡地に検討している施設に入りたいと言っておられるのか？ ◎場所は、出来れば駅に少しでも近い方が良いが、地域全体の施設として考えた場合、地域活動支援センターの登録者は200人余りで、1日の利用者は砺波や小矢部からも来られて30人程であり、地域活動支援センターは必要不可欠な施設。福祉作業所を含めて、どこかにこのような機能を作りたいと考えている。 ●旅川福祉交流館には、現在どこが入っているのか？ ◎2階には、メイプル福野と、なんと共同作業所。1階には、相談支援事業所ピアサポートあいと、活動支援事業所あい。相談支援事業所は、介護で言うところのケアマネさんのいる介護支援事業所のようなもので、相談支援員さんが常駐している。 ●メイプル福野の現在の賃借料は？ ◎電気料の子メーター分だけを支払っている。 ○障がい福祉に係る施設ということで、フロアの賃借料は免除となっている。 ●福祉作業所というのは、作業する空間があれば良いのか？それとも、ある程度の設備なども必要になるのか？ ◎作業する空間があれば良い。作業する場所には、テーブルを配置すれば良いが、その他に職員5人ほどの事務所も必要。 ●使用している面積は、旧旅川会館ホールの半分ほどか？ ◎仰るとおり。事務所も含めて200㎡よりも狭いだろうか。ただし、知的障がい者に限らず、身体、精神の各障がいにも対応しており、様々な症状の方がいらっしゃるし、中にはパニックになる方もいらっしゃる。そんな方が落ち着くための部屋も必要になる。 ●利用者の皆さんは、階段の利用は可能か？ ◎問題ないが、もし作業所が2階になるのならエレベーターはあった方が良さそう。 ○検討されている施設が公民館的な施設であれば、多目的なトイレも必要であろうし、一般的にバリアフリーの設えが望ましいだろう。 ◎以上のようなことから、今後のこのグループの検討に参加させてもらえないだろうか？ ○ファブリカ跡地に、現在、マーシ園のグループホーム「ふくの実」とヘルパーステーションがあるが、その隣に、なんと共同作業所を、国・県の補助金を受けて移転新築される予定。これには市の補助金は出していない。一方で、メイプル福野や地域活動支援センター1型（相談支援事業所を兼ねたもの）の移転先はまだ見えていない状態。 ◎社会福祉法人手をつなぐとなみ野は、マーシ園に比べると、歴史が浅く実力もないので、新築出来る程、資金に余裕がない。しかし、福野から福祉作業所がなくなると、これまで利用してきた方々が不便になることから、何としても福野で移転先を確保したい。 ●市で、地域活動支援センターの移転先について何か考えているのか？ ○市では、施設を新たに増やすということが困難な状態の中で、今ある建物を利用してい		

くしか方法がないと考えている。旧保育園跡もあるが古いので、利用したところで、すぐにまた別の移転先を考えなければならない。庁舎統合後の現庁舎の利用も検討していた。このような市の現状については、手をつなぐ親の会には説明させていただいた。福野地域の市民の皆さんには、以前改修した旅川福祉交流館で活動しているのだから、これで十分なのではないか、と思われているだろうが、この状況を鑑みていただき、更に障がい福祉の分野も踏まえた上で、何か良いアイデアやご協力いただけることなどを伺えたら良いと思い、今回この会議に参加させていただいた。

●仮に、庁舎統合後の現庁舎にメイプル福野を入れてほしい、という市民の声が高まれば、市はそう動くことになるのか？

●そうはならない。庁舎を取壊すという経緯に至るまでもいろいろあった。元々は、もうしばらくは庁舎を残す方向で検討していた。しかし、現庁舎の耐用年数がまもなく満了になることや、庁舎敷地には借地が含まれているので、庁舎建物を取壊して更地にし、一刻も早く所有者にお返しし、残った市有地は新たな使い方を検討すること、この2点を踏まえて提言している。以上のことから、現庁舎を残そうという発想は、残念ながら、福野地域の提言実現検討会議にはない。

●公共施設再編計画によって、現庁舎も旅川福祉交流館と同じ流れになるのであれば、もっと長期間に渡って安心して利用出来る建物の方が良い訳だから、今、我々がファブリカ跡地で建設を検討している施設に入ってもら方が良いのではないのか。

◎この庁舎建物がなくなったら、この土地はどうなるのか？

→庁舎敷地の活用等については、別の空き家等活用グループで検討されている。その空き家等活用グループでは、現時点では、人口減少対策として、この庁舎敷地を更地にして宅地造成してはどうか、という意見があり、まだ具体的なところまでは進んでいないが、実現の可能性を検討されている。

●あと何年もつのだろうと言われている建物で活動するよりも、安心して、長期間活動の見込める建物が適当なのではないか。

●今日は西部さんにお越しいただいて、メイプル福野のことや障がい福祉施設の必要性を聞かせてもらったが、今後の進め方はどのようになるのか？

→現庁舎の敷地と庁舎南側駐車場についての、宅地造成の意見についても、まだ決まった訳ではないが、新規の施設整備の可能性があるのかどうか、市の方針を所管課から伺いたい。

○地域活動支援センターは、市の直営か、あるいは委託かのいずれかの方法により、各市に必ず設置しなければならないが、このための施設整備に係る補助事業が国からも県からも受けられない現状であり、そうすると、市の単独予算で建てられない。一方、社会福祉法人が福祉作業所を建設するのであれば、国県の補助が受けられる。また、仮に今検討されているような複合施設に入るということで、社会福祉法人が福祉作業所としての占有部分を明確に図示出来れば、国県の補助が受けられる、ということは県にも確認している。

●補助率はどのくらいか？

○上限があって、且つ、定員や面積などで基準額が細かく決められているので、即答は出来ない。

●単独の部分は、市はお金を出さないという認識で良いか。

○グループホーム整備事業では市の補助もあるが、福祉作業所に限定すると市の補助事業はない。

また、社会福祉法人に対する国県の補助事業はあるが、市単独の補助事業はない。ちなみに、R2年度の交付申請は既に締め切られているが、R3年度分についてはR2年8月までの申請となる。

◎こちらで検討されている建物の予算化については、来年8月までの要望で間に合うのか？

→こちらについては、決まり次第予算対応していく方向で説明させていただいている。

●今検討している建物に盛り込む機能については、内容を詰めて整理をしなければならないが、今伺った福祉作業所がこの建物になじむかどうか、というところもある。

◎現在、福野、福光、城端に福祉作業所がある中で、福野は砺波地区の中心な立地から、福野に限らず、市内外からの利用者がある。こうした現状にも係わらず、福野から福祉作業所が撤退するとなると、障がい福祉の面での福野の価値が下がり、非常に損失だろう。将来、砺波、小矢部、南砺が更に緊密化していくことが予想される中で、福野の価値がこれ以上低下しないように、この強みを活かしていく方向でも検討していかないといけないのではないだろうか？

●メイプル福野と地域活動支援センターについての状況は理解した。国県の補助事業の補

助率はどのくらいか確認出来たか？

○3／4になるだろうか。他に、加算もあるようなので正確なものではないが。

→補助金の残りの部分に市がお金を出して建てるとした時に、先にあるマーシ園施設とのバランスに問題はないのか？

○使用料として負担していく、という方法は難しいだろうか？

●複合交流施設として、様々な方々が集って交流出来るような機能を目指して検討しているが、健常の皆さんを中心に考えていたので、そこに障がいの皆さんの機能が加わった上での建物全体の運営が果たしてスムーズに行くのかどうか、想像出来ない。例えば、玄関を分ける必要があるのではないか？

◎それは、富山型デイサービスと同じ考え方で良いと思う。いくつか工夫は必要だが、同じ空間の中に、赤ちゃんから高齢者まで、そして健常者も障がい者もいる、という状況は問題ないと思う。

●もし福祉作業所が入るとすれば、その場所は他のことには利用出来ない、という理解で良いか？

◎占有することになるので、福祉作業所スペースを他のことに利用するということは不可能。作業台と椅子程度の設置であり、特に大掛かりな設備は不要であるが、仕上げ途中の品物の仮置きスペースも必要になるし、何よりも毎日の利用である。道具は不要だが、スペースは必要ということ。

また、メイプル福野は平日のみ開けていたが、国からの給付金の関係で、月1回土曜日にも開けることにした。利用者は在宅の方ばかりなので、作業所に来られた分だけしか給付金が出ないので、一日でも多く開けられるとありがたい。

●極端なことを言うと、365日開けているくらいの方が、その分給付金が多くもらえるということか？

◎利用者は、土日は家にいるだけなので、一日でも多く開いているほうが利用者にとっても良い。但し、メイプル福野は社会福祉法人が経営しているので、絶えず職員がその場にいなければならないことから、職員の確保の都合から難しい。職員にも休んでもらわないとならない。

→メイプル福野、市の地域活動支援センターの事情については、皆さんと共有出来たかと思う。このような機能が、検討の施設に盛り込めるかどうか、また今後話合っていたきたい。

◆西氏より、今後の取組内容について意見書の説明（資料3-4-①）

（資料3-4-① 今後の取組内容について意見書）

●福野中部地区で実施した住民アンケートの自由記載欄に、記載された事柄を重要視した。この欄に書かれる、ということは、そのように強く考えておられるということだし、その意見が氷山の一角であるという認識をしている。これらの内容を踏まえて、3案提出した。1案、2案は、福野中部まちづくり協議会の活動として取組むことを想定している。

（1案）高齢者の居場所づくり →高齢者交流スペースの配備

（2案）放課後児童の居場所づくり →児童、生徒の学習等スペースの配備

（3案）一部テナントとして、開業医の入居（誘致）を進める。

◆質疑応答（●…メンバー発言、○…西氏発言、→…事務局発言）

●この建物全体の運営は、福野中部まちづくり協議会で取組むという認識で良いか？

●前回の会議では複合交流施設に係るランニングコストを試算したが、それでも300万円余り不足する結果であった。この不足分は指定管理料で補うことにして、福野中部の協議会が指定管理者として受ける、という案で検討を進める方向でいるもの。テナント以外の空間は、福野中部の協議会が主体で運営するという案である。

○現在、福野中部の協議会に3人、産業文化会館の管理に3人いる状態。これが複合施設として1つの建物になった時に、管理に6人は不要。但し、夜間も開館することを考えると、管理部門として1人分の人件費は指定管理料でいただきたい、という考えである。

●この施設に民間が入って運営していく、という可能性はあるのか？

●可能性はゼロではないだろう。やり方にもよる。民間から手を挙げてもらえば良い。

●やり方の良し悪しは別として、この施設で実績を積んでいただいて、他所で自立していただく、というのが一番良いとは思いますが。

●福野中部のまちづくり協議会の活動の一部を、施設の機能として挙げておられるが、それ以外の部分は民間が入って活動しても良い訳か？

●もちろん、それは入ってもらって構わない。それよりも、自分たちでは入ってもらい民間の当てがないから、困っているのであり、是非入ってもらいたい。

●その点を確認したかった。

→民間の活動をどのように入れるのかは、今後の検討になるだろう。施設の賑わい（機能）として入るのか、テナントとして入るのか。施設の機能としてどんなものを入れるのかを先に決めてから、建物の設計に入ってほしい、ということは、再三皆さんにお願いしているところである。

◆古瀬氏より、提出資料の説明（資料２）

（資料２ 公共施設再編計画の視点からの試算（修正案）、
維持管理費等の概算試算（修正案）、整備手法及び維持管理費の検討（案））

◆今後の取組内容について意見書の説明（資料３－１～３－３－③）

・杉木氏…各種団体が借りられる事務室と多目的ホール（大会議室）及び中会議室、喫茶店の設置

・石黒氏…（１案）子どもたち（特に小学生）が居つく場所づくり
（２案）各種団体の拠点集約

・柴田氏…（１案）住民全ての方が、元気に笑顔を持って来ていただく施設に（施設のあり方を主体にしていく）
（２案）大手ホテルグループ等の戦力を使う
（３案）ファブリカ跡地を全て住宅地に（人口を増やして賑わいを保つ）

◆質疑応答（●…メンバー発言、○…上野係長発言、→…事務局発言）

●ずっと前から思っていたことだが、実際にどんな人が携わってくれるのだろうか？

●市から委嘱、任命されている各種団体の皆さんも、実働部隊として参画してもらわなければならないが、どの地域づくり協議会でも同様のやり方で進めているので、問題ないはず。

●今まで機能していなかった団体などについても、地域づくり協議会の部会に参画してもらうことで機能していく、というやり方は有益だと思う。

●今検討している施設に地域づくり協議会が入れば、建物の管理費や人件費が市から出るのでそれを充てるが、それだけでは足りないので指定管理料で補う。この方法が一番現実的と考える。

→先程から「指定管理」という言葉が度々出てきているが、「委託」のようなイメージを持っておられるのか？指定管理は、管理面、事業企画面、運営面等でプレゼンをして、採択されたところが指定管理者となるもの。不足分を補うというような考え方のものではない。

●では、誰から金を取るのか？全国の事例を参考にすることは理解出来るが、事例と同じような利用者の当てがあるのか？私の力では当てがないので、福野中部の交流センター機能と産業文化会館機能を入れて、産業文化会館機能はこれまでと同様に福野中部の指定管理で運営すれば良い、と意見させてもらっている。

●現在の福野中部まちづくり協議会は８部会があるが、実際に機能しているのは２部会だけで、従来の公民館活動の延長である。残りの部会については、集まっても、何をしようかと暗中模索の状態である。今後、活動の場という機会を与えてもらったら、それらの部会が少しずつ事業実施により機能していく可能性を期待している。

●この場所が、子どもや高齢者に、更に障がい者を加えて、地域共生社会のモデルとなれば良いと思う。

●この会議の結論はいつになったら出るのか？福野まちづくり協議会との調整も必要なのではないか？

→この会議では、ある程度の図面を描くところまで検討していただき、それをもって住民説明会を開催し、住民説明会での意見をフィードバックし、より良い内容にしていく、そんな流れを想定している。

また、福野まちづくり協議会との調整については、福野の提言実現検討会議には、福野まちづくり協議会の主要メンバーが参画されているので、調整するということは考えていない。

●住民説明会を行ったところで、参加者全員の理解は得られない。せいぜいで３割程度。

→仮に、この案で住民説明会に臨むとすると、福野中部の協議会の主体による運営となることについて、他地区の協議会の理解が得られるように丁寧に対応することが必要かと。

●提言の検討会議の頃から、これで２年程議論しているのに、これ以上何を議論しろと言うのか？次回の会議までに図面は描いてもらえないのか？

→こちらとしては、部屋の配置も皆さんで議論してほしいと考えている。

- まだ議論しろというのか？
- 現時点の議論の内容で図面を描いて、住民説明会で説明して十分な理解が得られるのか？
- 説明はする。
- 全くのゼロから部屋の配置を考えるのは自分たちでは難しいので、たたき台のようなものを示してもらって、それに対して意見を言うことは出来るが、どうだろう？
- 次回は、素案の素案のような図面をお示しして、これを基に皆さんで配置に係るラフ図を考えるということで良いか？
- プロのセンスを入れた図面を示してほしい。
- メイプル福野の移転先について、この会議で決めていくということで良いか？
- （全員）異議なし
- 他所の福祉作業所については、国県の補助金を活用して、自己負担をして設置されているので、メイプル福野だけ市の補助金を入れて設置するというのは、やはり厳しい。この点をご承知おきいただきたい。

◆次回会議

日時：10月17日（木）午後7時から

場所：福野庁舎2階 201会議室

内容：①複合交流施設に入れる機能の配置に係るラフ図の作成
②複合交流施設に係る賑わい機能の具体的な内容の検討

福野地域提言実現検討会議

拠点づくりグループ 第6回 R元.9.20

福祉作業所

メイプル福野

H14 福祉作業所
OPEN

- ・障がい者の日中の
(在宅の) 過ごし場
- ・保護者、手をつなぐ育成会
- ・福野地域の方18人
ほど

H23 旅川へ
移転

R5年
耐用年数
満了

次の活動先を
探さなければならぬ

- ・南砺市地域活動支援センター
ぴあサポートあい
- ・なんと共同作業所

各自治体に
必要

次の活動先が
ある

メイプル福野

林
士田 叔田

- ・事務所…職員4.5人
 - ・作業スペース
 - ・クールダウンの部屋
- 占有と
なる

① 市・新しい建物ほムリ

- ・庁舎統合に合わせて、残った庁舎
を使わせてもらうことも一案

旅川と同様

- ・福祉作業所整備に係る
市単の補助事業はない…

今後の検討の参考にできたら…



◆ 賑わい機能の具体的に検討 ◆

西氏①高齢者の居場所づくり(案)

②放課後児童の居場所づくり(案)

③一部テナントとして開業店の誘致(案)

福野中部まちづくり協議会
の部会で運営したい。



古瀬氏・福野中部まろくり協議会の運営



居場所
介護予防

「要介護」にならないうえに

① 高齢者交流(案)

- ・ コーヒーサロン
- ・ 健康体操&サロン
- ・ 通所型サービスB



② 児童学習(案)

子育て世代の支援・放課後児童の居場所と学習

↓
中部の部会 + 教員のBボランティアグループ

③ 子育て交流(案)

④ 趣味の会、サークル等の活動や発表の場(案)

杉本氏 ① 各種団体が借りられる事務室(案)

② 多目的ホール(大会議室)と中会議室(案)

③ 喫茶店(案)



柴田氏



① あり方を主体に考える住民の全ての方が

元気に笑顔を持って来てもらえる施設に!

- ・ 0歳児への玩具の遊び場(案)
- ・ 幼児向けクッキング(案)

ボケ防止 ← 団塊の世代向け文化教室(案)

② よそ者の力を入れる。

ビジネスホテルの単体力の利用(案)

③ ファブリカ跡地を全て宅地造成(案)

石黒氏 ① 子どもたちが居場所づくり(案)

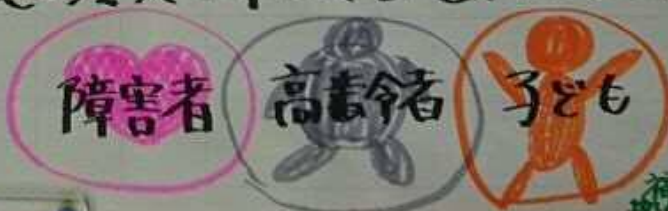


小学生

② 各種団体の拠点集約(案)

・ 建設場所は市有地なので検討している

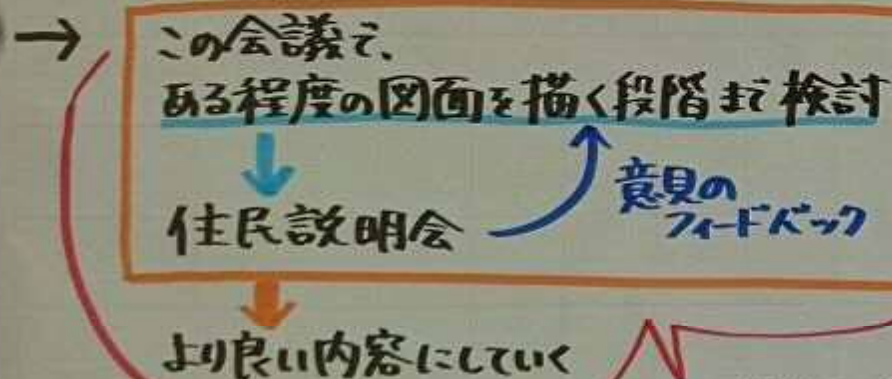
・ 地域共生社会のモデルとなれば...



- ・実際にどんな人が携わってくれるのか？
- ・市から、委嘱、任命されている各種団体の皆も実働部隊として参画してもらう。
これは、どこの地域づくり協議会も同じやり方。
どの団体も機能していくので有益。

(注) 「指定管理」は、
経費の不足分を補うものではない！

- ・この会議の結論はいつになったら出るのか？



これは流れと
想定している



- ・住民説明会としても、3割程の理解が得られない。
- ・検討会議から2年程議論しているのに、
これ以上、何と議論するのか！

- ・次回会議までに図面を描いてほしい！
- ・配置図のたたき台を示してもらい、
それに対して意見するのはどうか？

→ 次回は、素案の素案のような図面を示して、
これを基に、皆で配置のラフ図を考えるの良いか。

マイプル福野の移転先は
この会議で決めていくことになった。

→ マイプル福野だけ、市の補助金で設置
というのは厳しい。
この点をご承知おさいただきたい。

次回 10/16 (水) or 10/19 (木) ← この日で決定

- ① 複合交流施設に入る機能の配置に係るラフ図の作成
- ② 複合交流施設に係る賑わい機能の具体的な内容の検討

福野地域 会議録

件名	福野地域提言実現検討組織 拠点づくりグループ 第5回会議		
日時	令和元年8月26日(月)19時～21時	場 所	福野庁舎2階 201会議室
出席者	拠点づくりグループ参加メンバー：8名、地方創生推進課：1名		
内容	・参加メンバーからの提供資料の説明 ・複合交流施設に必要な機能と具体的な取組について		
概要	◆当日配布資料の説明 ◆古瀬氏より、提出資料の説明(資料2) (資料2 公共施設再編計画の視点からの試算(修正案) 整備手法等と、維持管理費等の概算試算(案)) ●メンタルヘルスの話は行わないとの事なので、その代わりに大会議室を追加してみた。芝生については縁側のようなイメージ。 ●4の概算不足額は、今後捻出しなければならない費用。これをどうやってあてがうかを検討しなければならない。 ●これとは別に、複合交流施設を1階に、その上階部分を住宅にするという案もあるようで、これはPFI※方式によるものと伺った。1階部分は、これまでの検討案の内容のとおり、運営主体を福野中部まちづくり協議会とすることが手堅いと考えているが、この案については相手のある話なので、ここでは何とも言えないところ。 ※PFI…Private Finance Initiative(プライベート ファイナンス イニシアティブ)の略称で、社会資本整備の民間事業化のことをいう。公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る考え方。 ◆西氏より、提出資料の説明(資料3) (資料3 産業文化会館利用回数・利用人数、利用先一覧) ●55団体の利用がある。資料の年度等については、再度確認し、次回お伝えしたい。 ●今日は、古瀬氏、西氏からの資料に基づき、一つひとつ検討を詰めていく方法で良いか？→(全員)異議なし ●産業文化会館の利用について、55団体の利用は全て有料か？ ●仰るとおり。 ●資料2の4の維持管理費の概算試算については、産業文化会館の実績を踏まえて算出したもの。テナント料については、いくらが適当なのかが不明確であったので、ライオンズクラブや福野老人クラブ連合会の実績に基づくものとした。また、人件費については、追加となる夜間の分として半日分を試算している。 ●概算不足額が310万円余りも発生する内容で、理解が得られるのか。不足分の対応を予め確認しておかないと、出来もしない話ならここでいくら検討してもムダではないか。 →不足分として310万円余りを計上されているが、福野中部交流センター以外の部分でどんなことをしたいのか、ということによるのでは？庁舎がなくなることに対する地域の賑わいをどうするのか。そして、採算が合うような内容に切り詰めないとならないのではないだろうか。 ●産業文化会館の利用団体や利用者の今後の行き先は考えてあげなければならない。この複合部分でお迎えするべきではないか。 ●テナント空間や物販などの機能があれば集客につながるので問題ないだろう。 →どんなことに使うのかをしっかりと詰めておく必要がある。例えば、通所B型事業を行うのであれば、それに適したスペースが必要かと思うが。 ●資料2の3の整備方法等について、建物の所有権を市が持つというのはいりうるのか？ →交流センター(公民館)のほとんどは市の所有であり、維持管理は地域で行ってもらっている。福野中部の交流センターがベースであれば、市有もありうるだろう。 ●延床面積が廃止対象面積の47%になっているが、この点についてのご意見はいかがか？ ●駐車場スペースは考えられているのか？例えば、100人規模の催物などの場合、せめて60～70台程の駐車台数は必要だと思う。駐車場部分の維持管理をどうするのかということも考えておくべき。 ●産業文化会館の使い勝手の良さは、建物の周囲に駐車場があること。公共施設再編計画を考慮した場合、駐車場も半分にしなければならないのか？また、冬季の除雪費用はどうするのか？ ●駐車場については、建物の建築にあわせて整備してもらえば良いだろうし、除雪についても、		

駐車場整備の際に消雪装置を設置してもらえばいいだろう。必要な電気代は建物の維持管理費の中で見ていく内容とすればいいのではないかと。

- 資料2の5に、福野中部まちづくり協議会が主体で運営し、とある。経営者には決断力と責任力が一番大事であると考えており、福野中部まちづくり協議会に主体で取組むという決意が本当にあるのかどうか不明な状況の今の段階で、このように書くのは非常にナンセンス。
 - 他の各地域づくり協議会で、実際に取組んでいることを盛り込んでいるだけだから問題はないだろう。
 - 既に建物があって事業に取組むのと、これから建物を維持管理しながら事業に取組むのとは全く違う。特に、概算不足額を310万円余り見込んでいるような内容で、福野中部地区の皆さんが「やる！」と言ってくれるとは到底思えない。この内容で理解を得るのは、なかなか過酷なこと。
 - だから、この概算不足額については、指定管理料で補えばいいと思っている。今はこれ以上詰めようがない。
 - いかに管理していくかということには課題があるが、産業文化会館で現在行っていることは、建物が変わっただけでは大変わりしないだろうし、後は地域づくり協議会活動を核として取組んでいけば何とかなるのではないかと。貸部屋で儲けようとは思っていない。
 - 新築するのだから、他の地区の交流センターと違って、修繕などの費用はほとんど掛からないだろうし、管理もしやすいから問題ないだろう。
 - 仮にこの話がまとまって地域に説明する時に、地元の皆さんへの更なる負担増加のお願いに理解を得られるだけの理論武装が我々に出来るかどうか。今の内容では大変不安。産業文化会館、福野中部公民館、ひびきの家の利用者については新たな利用先を確保してあげなければならないし、また、行政センターフロアについては、市民の皆さんが役所に毎日用事があるわけではないから、本当に必要最低限の行政機能があれば良いだろう。内容をもっと詰めなければならない。
 - 交流センター部分については、1軒当たり年間2,000円程の負担をお願いするつもり。
 - メンタルヘルスの話がなくなったので、寂しいからスペースを広げた。子育てスペースは単なるスペースだけ。他の既存の機能や施設との競合も考えられる中で、このような漠然とした説明で、今挙げている機能が本当に必要な機能と言えるのか？まだまだ精査する必要があるのではないかと。我々が一丸となって、地域を説得出来るだけの共通理解を図らなければならないのではないかと。
 - 必要な機能であると説明しても、地元の皆さんから負担金の支払いを断られてしまったら、それでこの話も終わりにになってしまう。夜高祭の負担金や曳山の負担金と同様の考え方を地元の皆さんに求めていかないと、先に進まないと思う。
 - ボランティアで運営に協力してくれる人材はあっても、運営方法をどうするかということを考えなければならない。例えば、夏休みの子どもの居場所づくりなども、地域づくり協議会の仕事。
 - 期間限定ならボランティアの可能性もあるだろうが、通年となるとボランティアでは難しいと思う。ある程度の人件費をみた有償ボランティアでない限り運営は難しいのではないかと。
 - 建物の規模は、産業文化会館より少し小さい程かもしれないが、基本的には産業文化会館などの利用団体の行き先をこの建物で確保して、利用団体の要望も踏まえて機能を盛り込めば良いのではないだろうか。
 - 310万円余りの概算不足額が、10年後には3,100万円、20年後には6,200万円となる。20年経った時の人口が、今よりどのくらい減少して、この施設が不要なものになっていないのかどうか。それが市の心配するところである。維持管理が指定管理とならないように上手く運営出来る方法を検討することが重要。例えば、行政機能部分の維持管理は市にお任せではなく、市から委託料をもらうようにするなど。資料の内容に反対しているのではなく、幸せなまちづくりを進めるための具体策をもっと突き詰めなければならないと言っている。
 - 幸せなまちづくりに対して、どんな機能が必要で、そのためにはどのような仕組みによって人が集まるのか、ということをもっと突き詰めなければならない。もしかすると、産業文化会館利用の皆さんが、新施設ではなくて違う施設を求められるかもしれない。
 - メンバーが高齢化している団体が多いため、この機会に団体の解散も有りうる。
 - もっと現実味のある話をしなければならない。
 - 福野中部交流センター部分については、元々他の地区のような公民館建物がなかったのだから、スムーズに受け入れられるはずだと思っているが。
 - 福野中部まちづくり協議会の拠点を作ることに反対しているのではなく、今の若い世代の皆さんが今後、建物を維持管理し、使っていくことになるのだから、もっと慎重にならなければならないと言っているのである。私の世代も含めた上の世代の方々は責任を取れない。
- 将来を考えて不安になるのは当然のこと。使い方を変えて多目的に使えるようにするなど、い

ろいろな考え方が出来ると思う。市としては、地域活動が活発になるのであれば地域づくり協議会の拠点を作ることは問題ないと思っている。但し、福野地域の提言の中で拠点づくりは目玉だと思っているが、いざ蓋を開けたら福野中部の交流センター機能だけだった、というのでは福野地域の活性化という点で、地元福野中部地区や福野地域の皆さんの理解を得られるのかどうかというところ。

- 必要最低限の賑わい機能は産業文化会館機能だろう。
- 自分の地元の協議会に、産業文化会館のような建物があれば、それで賑わいとなり得るだろうか？検討が不足しているような気がして、非常に心配。
- 高齢者と子どもの交流もあるから問題ないだろう。
- 高齢者の居場所とは、通所B型のことか？
- 基本はサロンとなるだろうが、いずれ通所B型が追加されるとなると良い。日中一人となる高齢者の居場所づくりである。
- 子育てスペースの件で、福野体育館でのアルカスのびのび広場の利用者が多過ぎて飽和状態とのかを受けての、こちらでの検討内容を担当課に伝えたところ、担当課では、出来るだけ小学校に近い所に開設出来るとありがたいとのことだったので、見込みを立てて機能を盛り込むことは可能かと思う。但し、近いうちに、アルカスの大規模改修が予定されており、その時に増築ということも考えられ、もしそうなれば、ここでの検討は不要になるかもしれない。
- アルカスに行かない子どももいる。アルカスに行くのは大体3年生までで、4年生以上はアルカスよりも家に居た方が良くと言う子どもが多いように思う。
- 子どもたちの顔を見ることで、高齢者が元気になるということから、提言に盛り込んでみたものの。アルカスを増築して子どもを詰め込む、というのであれば、こちらで無理に子育て交流スペースを入れる必要はないだろう。
- 高齢者の元気付けに子どもが居る、というのはなかなか魅力的ではないだろうか。今後、高齢者サロンは絶対に必要になってくると思うから、それに併せて子どもと絡めた事が出来れば良いのかもしれない。
- 小学校高学年向け機能として、塾みたいなものがあったとしても良いかも。アルカスとのすみ分けなどで、賑わいを持たせるという可能性もあるだろう。
- 以前の会議では、教員 OB のボランティアグループで子どもたちの宿題を見る、という発言があった。
- ある程度話が進んできた段階で、そういった人たちにもこの会議に参加してもらって、「出来る！」と言ってもらいたい。その他にも、例えば 17 時、18 時でアルカスが終わるのであれば、それよりも遅い時間まで受け入れるなど、アルカスが預かってくれない時間帯に対応すれば、子育て世代の核家族などのニーズもあるだろう。また、福野の行政センターにたくさんの来客があるとの話もあったが、行政センターの用事が終わって、それだけで帰られては、現状と何ら変わらない。行政センターに来た時に何か他の事も出来る、という事が必要なのではないか？今ある機能を右から左へ移しただけでは何にも変わらない。その点について、もう少し議論を深めていただきたい。
- 交流センターのような施設の開館時間は午前9時から夜9時までが一般的と考えるが、先程の話にあった遅めの時間までの児童の預かりについては取組むべき事柄と考える。
- アルカスで取組んでいないような土日にも対応したら良いのではないか。
- 協議会としては、地域のニーズに合わせた活動をしなければならない。
- ニーズ調査のための住民アンケートの実施は可能か？
- 可能だと思う。行政主体で行っても良いし、協議会主体で行われても良いと思う。何度も言うが、施設を建てるからどんな機能を入れるか、ではなく、こんなことをやりたい、あんなこともやりたいからこれだけの面積が必要、という流れで話を進めないと、理解は得られない。ここで目一杯アイデアを出した上で、アンケートの実施や、若い人の意見を聞いた方が、安心して取組む内容になるのではないだろうか？
- 福野まちづくり協議会での企業向け居住意向アンケートの結果では、共働き世帯が安心して暮らせる環境があれば移り住みたいと思っている。小学生の放課後をどのように見守るのか、ということを目玉にすれば、仮にファブリカ跡地の残りの部分を宅地造成したとしても十分ニーズはあると思う。
- そのためにも、スタッフの確実な確保は重要。これまで、放課後児童クラブのスタッフをいくら募集しても応募がなかったのだから、それをボランティアでやるとなると相当大変だと思う。
- 何か上手く働いてもらえるようなシステムがないと確保出来ないだろう。例えば、町内や集落の小さい範囲なら受けてもらえても、地区の範囲になると大きくなってしまい、その分責任も付いて回って難しいだろう。
- 人の命を預かるのだから当然だろう。
- 高齢者サロンも同様だが、町内や集落の範囲だと歩いて行けるようなものが、地区全体にな

ると、それ以上の魅力となるような内容で取組まないと人は来ないだろう。

- しっかりとした指導者などがいる、という安心感を謳わないと難しいだろう。後は、人が人を呼ぶ。

→なかなか人材が見つからないにしても、こんなコンセプトでやる、ということで内容を詰めてもらうと良いのではないか。

- 資料2については、駐車場も追加して、どういう運営方法にするのか、運営の観点も加えたものに修正したい。

→どのようなニーズに基づくものなのかも確認してほしい。絶対しなければならない事柄についても、どのようにニーズや賑わいに結び付けていくかが重要。

- 次回会議に向けて、賑わい創出の提案を宿題としてはどうか？

→次回開催案内に様式を付けて、最低3つほど案を出してもらうようにしたい。

- 事前に集めて、それを、次回会議に資料提供していただきたい。

→了解した。

◆次回会議

日時: 9月20日(金)午後7時から

場所: 福野庁舎2階 201会議室

内容: 複合交流施設に係る賑わい機能の具体的な内容の検討

福野地域提言実現検討会議 グループ 1 【新しい核となる拠点づくり】 検討資料

I 複合交流施設

1 公共施設再編計画の視点からの試算 (R1,8,26の修正案)

(1) 福野地域内でのスクラップ & ビルド で50%削減目標

新しい核となる拠点施設						廃止する施設		
施設名	行政施策との関連	施設区分	施設内容/規模のイメージ		延床面積(m ²)	施設名	延床面積(m ²)	
複合交流施設	小規模多機能自治の推進	中部まちづくり協議会	事務室		20	福野産業文化会館	1,062	
			多目的会議室	150名規模	250	福野中部公民館	87	
			会議室2	50㎡×3	150	ひびきの家	194	
			調理室		60	(福野庁舎)	(5,578)	
			物置等		20	内行政センター707	285	
	高齢者の地域で支え合う体制づくり	高齢者の居場所づくり	高齢者交流スペース	40名規模(40畳)	60	旅川福祉交流館	1,269	共同作業所はファブ 跡地(マツ園)へ、就労支援はメーブ ルへ譲渡を検討
	子育て支援	放課後児童の居場所づくり	児童学習スペース	40名規模(40畳)	60			
		幼児子育て空間	子育て交流スペース					
	行政改革	行政センター	行政サービス窓口		150			
	観光の推進	産業・観光等PR空間			50			
	生涯学習	一般サークル活動等	会議室2	45㎡×2	90			
	持続可能な運営	テナント空間	一般テナント	25㎡×3	75			
			物販テナント	30㎡×1	30			
			インテラスとギャラリー空間	芝生広場へのインテラスとギャラリー空間		100		
			その他空間	玄関/ロビー/廊下/トイレ空間等(延床面積×0.3)		330		
	(屋外空間)	(芝生広場)		(1,000)				
	(駐車場)	60台×20㎡/台		(1,200)				
合計	今回廃止対象面積に対する50%				1,445			
施設の目標面積	廃止面積に対する50%目標面積				(4,100)	廃止面積	(8,190)	
	今回廃止対象面積に対する50%目標面積				1,450	今回廃止対象面積	2,897	
	// 旅川福祉交流館除く目標面積				(820)		(1,628)	

2 場所

ファブ 跡地(用地は南砺市)

3 維持管理費等の概算試算 (R1,8,26の修正案)

	経費の内訳		概算額(年間)			負担方法・金額	概算不足額(年間)
必要経費	施設区分	経費の内訳等	維持・管理費等	人件費	合計		
	市行政等	行政センター、産業・観光等PR等(管理人件費等含む)	3,000,000 (小修繕含む)	4,962,120 847,560	8,809,680 (4,962,120+359,000)	南砺市	0
	中部まちづくり協議会等	中部まちづくり協議会、芝生へのインタースとギャラリー空間、その他空間				まちづくり協議会 5,321,120	3,488,560
	児童学習スペース 高齢者、子育て交流スペース	中部まちづくり協議会を中心とする運営					
	趣味、サークル活動スペース	生涯学習関連以外の趣味・サークル(50回/年×1,500円=75,000円) 各種団体等(50回/年×1,500円=75,000円)				利用料 150,000	△150,000
	一般テナントスペース	3室×10,000円/月×12				賃借料 360,000	△360,000
	物販テナントスペース	30,000円/月×12				賃借料 360,000	△360,000
	芝生広場	芝生広場管理等					500,000
	駐車場	消雪電気料等					100,000
	合 計		3,600,000	5,809,680	9,409,680	6,191,120	3,218,560

3 整備手法及び維持管理運営の検討（案）

【PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ：公民連携)】

PPPには、PFI方式、指定管理者制度、公設民営(DBO)方式、包括的民間委託、自治体業務のアウトソーシングなどの手法が含まれる。

整備区分		整備手法	建設主体	所有権	維持・管理運営	備考
①	複合交流施設 単体整備	指定管理者制度	南砺市	南砺市	中部まちづくり協議会が主体的に運営し、維持管理運営費の不足分は指定管理者となり運営	
②	複合交流施設 と住宅を一体 整備	PFI方式 (BOO又はBTO)	民間	複合交流施設(市 が区分所有又は賃 貸契約)	中部まちづくり協議会が主体となって運営	
				住宅(民間)	民間	

4 複合交流施設で取り組む内容（案）

施設区分	取組内容(新たな賑わいづくりに向けて)	運営方法	取組根拠(ニーズ等)	取組効果
中部まちづくり協議会 707	中部まちづくり協議会の生涯学習・人づくり部会、高齢者支援・介護予防部会、子育て支援部会、伝統産業再生部会等8部会の活動	中部まちづくり協議会	小規模多機能自治の推進	地域の課題解決
高齢者交流スペース	①高齢者の居場所づくり(コヒート) (中部地区及び全地域の高齢者を対象)	中部まちづくり協議会と民生児童委員、地域福祉推進員、ヘルプボランティアなど	中部地区アクト(コヒート)など生きがいづくり/重要度認識51%)	日中の高齢者一人暮らしを避け、ホケ防止
	②健康体操&コヒート(中部地区及び全地域を対象)	中部まちづくり協議会、体育指導員	中部地区アクト(健康体操など健康づくり/重要度認識57%)	要支援レベルにならないための健康維持
	③通所型サービスB型事業(中部地区の要支援1・2を対象)	中部まちづくり協議会と有償ボランティアスタッフ	市の取り組み方針	要介護レベルに進まないための健康維持
児童学習スペース	①放課後児童の居場所と学習(福野全地域を対象)	教員OBなどによるボランティアグループの検討	中部地区アクト(子育て支援・放課後の過ごし方/重要度認識69%)	利用の不足分及び利用に行かない高学年児童の居場所、共働き世帯の子育て支援
子育て交流スペース	①子育てママの交流と幼児の遊び場(福野全地域を対象)	母子健康推進員など	中部地区アクト(子育て支援・相談できる場/重要度認識69%)	子育ての悩みが情報交換でき、育児に反映
趣味・サークル活動スペース、芝生へのインタラクティブとギャラリー空間	趣味・サークル活動及びインタラクティブ・ギャラリー空間での自由発表	趣味の会又はサークルグループ	生涯学習等の推進、	賑わいづくり

5 持続可能な運営方法の検討（案）

- | | |
|------------|-------------------------|
| (1)施設整備の観点 | ①PFI方式の検討 |
| | ②建設時の太陽光パネル設置等により電気料の節減 |
| (2)運営上の観点 | ①テナトによる収入 ②地域での物品販売 ③ |

6 解決できる課題

- ①中部まちづくり協議会の活動拠点施設の確保
- ②まちの核となり、交流と賑わいを創出し、まちを活性化
- ③子育て支援、高齢者の居場所づくりなど地域が抱える課題を解決
共働き世帯の子育て支援体制を充実させ、若手の定住化を促進

Ⅱ 住宅開発

- 1 現状と目標 ①南砺市の人口減少対策を福野で実践。（南砺市外からの就労者が多い企業が立地する、福野地域の優位性を活かした定住化対策）
②保育園、小学校、中学校、高校、そして体育館、図書館等が周辺に配置されているまちの優位性、教育環境の良さを生かす。
②都市計画に沿った、「周辺外なまちづくり」を推進することにより、まちの賑わいと活性化を図る。

- 2 場所等 周辺跡地、庁舎跡地（用地はいずれも南砺市）

- | | | |
|---------------------|---------|--|
| 3 産官民による整備
の支援体制 | ①整備主体 | 民間宅地開発業者 |
| | ②行政の支援 | 「周辺外なまちづくり」の観点から、用途地域内で住宅開発を行った、住宅の購入者
に対する市の助成制度を創設。 |
| | ③市民グループ | ボランティアの立場で、企業就労者へのPRや行政、民間開発業者との連絡支援。 |

福野地域 今後の取組内容について意見書 【1 案】

[杉木 徹]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

- 各種団体が借りられる事務室と多目的ホール（大会議室）及び中会議室、喫茶店

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

- 砺波ライオンズクラブとして、産業文化会館にある事務室と会議室は必須である。
 - ・事務室は年間常時使用
 - ・会議室は月2回使用

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

- 指定管理にて運営

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

- 福野地域内にて各種団体が活発に活動が出来る場所を提供することによって地域を活性化させる拠点とする。

連絡事項

なし

福野地域 今後の取組内容について意見書 【7 案】

[石黒 公一]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

- 子どもたちが居つく場所づくり（特に小学生→アルカスのような機能）

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

- アルカスが手狭

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

- 年配の方も見守る。
- 場所の貸出→勉強スペース他

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

- 保護者が安心して、預けられて、迎えに行ける。
- 年配の方も子どもたちを見守ることで元気になる。

連絡事項

福野地域 今後の取組内容について意見書 【2 案】

[石黒 公一]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

- 各種団体の拠点集約

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

- 福野、南砺、砺波広域の中心であり、使い勝手が良い。

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

- 場所の貸出

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

- 人が集うと、また人が人を呼ぶ場所になる。（内部、外部ともに）

連絡事項

福野地域 今後の取組内容について意見書 【1 案】

[柴田 昌尚]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

- 今までのやり方から、どうあるべきかを考え、やり方を主体ではなくあり方を主体にしていく。
- 住民のすべての方が元気に笑顔を常にもってきていただく施設に～～
- ・0歳時からの玩具の遊び場
- ・幼児向けクッキング
- ・団塊の世代向けの文化的教室（言い方を変えればボケ防止）

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

- 健康でストレスのない社会を生み出す効果をつくる。
- これから独居老人が増える中、一人でも長生きできるまちづくり。
- 子供たちにおいても、この町を必要としてくれるまちづくりにつなげたい。

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

- 新たにまちづくり会社を設立し、施設の賃貸などで運営していく。
- 具体例は後程

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

- 人が必要とする施設になれば、
健康で長生き出来、
使用されるすべての方の交流につながり、
町の誇りや勉学、人としての在り方など
様々な分野で成長できるようになる。

連絡事項

福野地域 今後の取組内容について意見書 【2案】

[柴田 昌尚]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

- よそ者の力をいれる。例) アパ、星野リゾートなど
ビジネスホテルの戦力を使い賑わいをつくる。

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

- 土地の賃貸などを格安にする代わりに、観光客をもっと増やし、南砺を周遊できる形をつくり、
観光財源からの賑わいあるまちづくりにする。

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

- 全面的に、上の2社に任せ、市の土地は賃貸としていただく。
その中で、ホテルの警備掃除などの人材を南砺から派遣し、費用対効果をうむ。

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

- 観光客の増減により、より町の方々の誇りをつくり、この町に生まれ、育った誇りを共有して、
住民全体が、観光ガイドになるよう、常に教室などによる健康で、勉強できる形をとる。

連絡事項

福野地域 今後の取組内容について意見書 【3案】

[柴田 昌尚]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

- まずは、人口減少問題から。
- いまのファブリカ跡地を すべて住宅地にする。
- 人口を増やさない事には 賑わいが保てない。

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

- 人口増加から、うるおいある街につなげる。
- 必ず、南砺市でお金を落とす、システムを～～

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

- 地面を格安で売り、その代わり建物は南砺市の業者で建てる事を条件として格安にして、新たな町をつくらず、今の町との共存共栄できるシステムをつくる。

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

- 人口増加したことにより、中部公民館機能をより良いものに出来、幸せなまちづくりにつながる中部公民館を、別の場所で建設する。

今の複合施設におけるやり方は、民にはかなり厳しいことである。行政全体でも公共の仕事においても、入札額から20%差し引くなど、考えを変えて頂きたい。誰かが大変な思いをして、誰かが、仕事だけのことも楽しいという言葉は適切ではないが、それが幸せなまちづくりにつながるだろうか？

これからのことを思えばこそ平等に、人と人が助け合っていく世の中になるためには、みんなで解決する手法を考えていただきたいと思います。

複合施設を運営するにあたり、その方たちが大変な思いをされるのはおかしいと思います。何事も最後の最後まで責任を持つ、言動や行動をしていただきたいと思います。いまの担当も二年経てば、移動されれば責任がなくなるので、担当の名前は末代まで残るくらいの責任を持って挑んでいただきたい。

連絡事項

福野地域 今後の取組内容について意見書 【1 案】

[西 賢一郎]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

- 高齢者の居場所づくり
高齢者交流スペースの配備

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

- 中部まちづくりアンケートの市民要望による
車の運転に支障が出てきた場合の不安はぬぐいきれない。
話をしたり、お茶を飲んだりするような、気軽に歩いて行ける場所(さつき荘までは遠い)があればよい。

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

- 福野中部まちづくり協議会 高齢者支援・介護予防部会が中心となり運営する。

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

- 高齢者の生きがいづくり、生活支援となる

連絡事項

福野地域 今後の取組内容について意見書 【2 案】

[西 賢一郎]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

- 放課後児童の居場所づくり
児童、生徒学習等スペースの配備

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

- 中部まちづくりアンケートの市民要望による
子供の遊び場が減少していて、特に小学生・中学生の遊び場がない。
図書館以外で学習室があればよい。

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

- 福野中部まちづくり協議会 子育て支援部会が中心となり、運営する。

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

- 女性が働きやすい環境づくり、子育て支援となる。

連絡事項

福野地域 今後の取組内容について意見書 【3案】

[西 賢一郎]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

- 一部テナントとして開業医(小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科)の入居(誘致)を進める

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

- 中部まちづくりアンケートの市民要望による
若い方のために住宅がたくさん出来ても、一番大切な病院が町中になくては、安心して暮らせないのでは。

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

- 民間で誘致活動を進め、テナント料等の収益は民間へ
テナントスペースは、民間所有

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

- 住みやすい安心して暮らせる全ての支援の根本となる。

連絡事項

福野地域 今後の取組内容について意見書 【1 案】

[古瀬 正嗣]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

(中部まちづくり協議会フロアにて)

●中部まちづくり協議会の8部会の活動

生涯学習・人づくり部会、高齢者支援・介護予防部会、子育て支援部会、伝統産業再生部会等

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

●小規模多機能自治の推進

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

●福野中部まちづくり協議会

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

●地域の課題解決

連絡事項

福野地域 今後の取組内容について意見書 【2 案】

[古瀬 正嗣]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

(児童学習スペースにて)

- 放課後児童の居場所と学習（福野全地域を対象）

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

- 中部地区アンケート（子育て支援・放課後の過ごし方／重要度認識 69%）

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

- 教員OBなどによるボランティアグループの検討

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

- アルカスの不足分、及びアルカスに行かない高学年児童の居場所、共働き世帯の子育て支援

連絡事項

福野地域 今後の取組内容について意見書 【3案】

[古瀬 正嗣]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

(子育て交流スペースにて)

- 子育てママの交流と幼児の遊び場（福野全地域を対象）

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

- 中部地区アンケート（子育て支援・相談できる場／重要度認識 69%）

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

- 母子健康推進員など

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

- 子育ての悩みが情報交換でき、育児に反映

連絡事項

福野地域 今後の取組内容について意見書 【4 案】

[古瀬 正嗣]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

(高齢者交流スペースにて)

- 高齢者の居場所づくり コーヒーサロン (中部地区及び全地域の高齢者を対象)

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

- 中部地区アンケート (サロンなど生きがいづくり／重要度認識 51%)

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

- 中部まちづくり協議会と民生児童委員、地域福祉推進員、ヘルスボランティアなど

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

- 日中の高齢者一人暮らしを避け、認知症の予防につなげる

連絡事項

福野地域 今後の取組内容について意見書 【5 案】

[古瀬 正嗣]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

(高齢者交流スペースにて)

- 健康体操＆サロン（中部地区及び全地域を対象）

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

- 中部地区アンケート（健康体操など健康づくり／重要度認識 57%）

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

- 中部まちづくり協議会、スポーツ推進委員（旧体育指導委員のこと）

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

- 要支援レベルにならない（介護認定を受けない）ための健康維持

連絡事項

福野地域 今後の取組内容について意見書 【6 案】

[古瀬 正嗣]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

(高齢者交流スペースにて)

- 通所サービスB型事業（中部地区の要支援の方を対象）

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

- 市の取り組み方針

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

- 中部まちづくり協議会と有償ボランティアスタッフ

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

- 要介護レベルに進まないための健康維持

連絡事項

福野地域 今後の取組内容について意見書 【7 案】

[古瀬 正嗣]

グループ名：拠点づくりグループ

ア. 新たな賑わいづくりに向けて、どんなことが出来るだろうか？

(趣味・サークル活動スペース、芝生へのエントランスとギャラリー空間にて)

- 趣味・サークル活動及びエントランス・ギャラリー空間での自由発表

イ. それは、どのようなニーズに基づくものか？

- 生涯学習等の推進

ウ. その賑わい機能の運用や運営方法はどのようにするか？

- 趣味の会又はサークルグループ

エ. その賑わい機能によりどんな効果が得られるか？

- 賑わいづくり

連絡事項